

交付図書の訂正について

平成 26 年 1 月 8 日

(契約責任者) 東日本高速道路株式会社東北支社

支社長 野 村 浩

平成 25 年 10 月 7 日付けで入札公告を行った「東北中央自動車道 赤湯工事」に係る交付図書の内容の一部に誤りがありましたので、別添のとおり訂正します。

【訂正する交付図書】

- ①特記仕様書
- ②設計図面⑦-1 (共通)
- ③設計図面⑦-2 (トンネル)
- ④設計図面⑦-3-3 (土工・函渠工)

別添「正誤表」をご覧ください。

東 北 中 央 自 動 車 道

赤 湯 工 事

設計図書正誤表

平成 2 6 年 1 月

東日本高速道路株式会社東北支社

山形工事事務所

工事名)東北中央自動車道 赤湯工事

正誤表(1/2)

対象	誤	正	備考
特記仕様書	特記仕様書「9関連工事に関する事項 9-1」に関連工事が未記載	特記仕様書「9関連工事に関する事項 9-1」に関連工事を追加 特記仕様書(訂正後)参照	追加
特記仕様書	特記仕様書「11-1工事用道路の指定」及び「11-2工事用道路の 共同使用」に関連工事が未記載	特記仕様書「11-1工事用道路の指定」及び「11-2工事用道路の共同 使用」に関連工事追加 特記仕様書(訂正後)参照	追加
特記仕様書	特記仕様書「15-2騒音及び振動の防止」の記載の誤り	特記仕様書「15-2騒音及び振動の防止」の記載の訂正 特記仕様書(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-1 共通	設計図面「1/20 位置図」の旗上げの誤り	設計図「1/20 位置図」の旗上げの追加 設計図面⑦-1共通(訂正後)参照	追加
設計図面⑦-1 共通	設計図面「2/20 記号説明表」の記載の誤り	設計図「2/20 記号説明表」の記載の訂正 設計図面⑦-1共通(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「49/130 起点側坑門工平面図」の旗上げの誤り	設計図「49/133 起点側坑門工平面図」の旗上げの訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「92/133 非常用施設箱抜工図(18)」の抜け	設計図面「92/133 非常用施設箱抜工図(18)」の追加 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	追加
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「93/133 非常用施設箱抜工図(19)」の抜け	設計図面「93/133 非常用施設箱抜工図(19)」の追加 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	追加
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「94/133 非常用施設箱抜工図(20)」の抜け	設計図面「94/133 非常用施設箱抜工図(20)」の追加 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	追加
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「95/133 非常用施設箱抜工図(21)」の抜け	設計図面「95/133 非常用施設箱抜工図(21)」の追加 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	追加
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「97/130 洗浄水貯留槽平面図」の旗上げの誤り	設計図「101/133 洗浄水貯留槽平面図」の旗上げの訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
	以下次頁		

工事名)東北中央自動車道 赤湯工事

正誤表(2/2)

対象	誤	正	備考
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「114/130 計測工図(1)」の記載の誤り	設計図面「118/133 計測工図(1)」の記載の訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「115/130 計測工図(2)」の記載の誤り	設計図面「119/133 計測工図(2)」の記載の訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「116/130 計測工図(3)」の記載の誤り	設計図面「120/133 計測工図(3)」の記載の訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「121/130 防音壁一般図(参考図)」の削除	設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	削除
設計図面⑦-2 トンネル	設計図面「125/130 坑口部排水系統図(1)」の旗上げの誤り	設計図面「128/133 坑口部排水系統図(1)」の旗上げの訂正 設計図面⑦-2トンネル(訂正後)参照	訂正
設計図面⑦-3-3 土工・函渠工	設計図面「157/278 用・排水工詳細図(1)」の記載の抜け	設計図面「157/278 用・排水工詳細図(1)」の記載の追加 設計図面⑦-3-3土工・函渠工(修正後)参照	追加
	以下余白		

なお、上記の施工期間における除雪費は、関連する単価表の項目に含まむものとし、別途支払は行わない。また、上記に示す期間は現時点での予定であり、変更が生じる場合は別途監督員から指示するものとする。

やむを得ず施工期間以外において作業を行う必要がある場合は、受注者は、理由を付した書面と施工計画書を監督員に提出し、承認を得なければならない。

なお、上記の承認を得て上記の施工期間外に作業を行った場合の増加費用については、すべて受注者の負担とし別途支払は行わないものとする。

ただし、監督員が上記の施工期間外に工事を行うことを指示した場合は、それに従うものとし、これに必要な費用は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

9 関連工事に関する事項

9-1 契約書第2条に規定する当社または他の機関の発注に係る第三者が施工する他の工事は下表のとおりとする。

工 事 名 等	主な関連事項	予定工期	施行主体	受注者等名
保金工事業務等の実施に関する年度協定 (山形管内道路保金工事他)	土取場付近での近接作業	平成25年4月 ～平成26年2月 (毎年更新)	NEXCO 東日本 山形管理事務所	熊切社・パシ ナス東北
東北中央自動車道 中川地区工事用道路工事	土取場共同使用	平成24年11月 ～平成25年2月	NEXCO 東日本 山形工事事務所	(株)松田組
本線工事 (起点側) (工事件名未定)	土取場共同使用 工事区間の隣接	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
本線工事 (終点側) (工事件名未定)	工事区間の隣 接・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
側上副工工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
補強工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
施設工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
土工・河川工事 (工事件名未定)	土取場共同使用	未 定	国土交通省 及び山形県	未定

なお、上記の施工期間における除雪費は、関連する単価表の項目に含まむものとし、別途支払は行わない。また、上記に示す期間は現時点での予定であり、変更が生じる場合は別途監督員から指示するものとする。

やむを得ず施工期間以外において作業を行う必要がある場合は、受注者は、理由を付した書面と施工計画書を監督員に提出し、承認を得なければならない。

なお、上記の承認を得て上記の施工期間外に作業を行った場合の増加費用については、すべて受注者の負担とし別途支払は行わないものとする。

ただし、監督員が上記の施工期間外に工事を行うことを指示した場合は、それに従うものとし、これに必要な費用は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

9 関連工事に関する事項

9-1 契約書第2条に規定する当社または他の機関の発注に係る第三者が施工する他の工事は下表のとおりとする。

工 事 名 等	主な関連事項	予定工期	施行主体	受注者等名
保金工事業務等の実施に関する年度協定 (山形管内道路保金工事他)	土取場付近での近接作業	平成25年4月 ～平成26年3月 (毎年更新)	NEXCO 東日本 山形管理事務所	熊切社・パシ ナス東北
東北中央自動車道 中川地区工事用道路工事	土取場共同使用	平成24年11月 ～平成25年2月	NEXCO 東日本 山形工事事務所	(株)松田組
本線工事 (工事件名未定)	土取場共同使用 工事区間の隣接	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
側上副工工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
補強工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
施設工事 (工事件名未定)	工事区間の重 複・工事用道路 の共同使用	未 定	NEXCO 東日本 山形工事事務所	未定
土工・河川工事 (工事件名未定)	土取場共同使用	未 定	国土交通省 及び山形県	未定

1-1 工事用道路に関する事項

1-1-1 工事用道路の指定

共通仕様書 1-22-1 の規定に基づき指定する工事用道路は、「位置図」に示すとおりとし、その路線名、巾員及び延長等は、下表のとおりとする。

路線名 又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用 開始時期	施工者	備考
1 米沢南陽道路	12.0m	150m	舗装	無償	—	—	既設
2 国道 13 号	9.0m	2600m	舗装	無償	—	—	既設
3 市道川既線	7.5m	1800m	舗装	無償	—	—	既設
4 本郷内 工事用道路	5.0m	1000m	砂利	無償	—	当該工事	既設 付替
5 本郷内 工事用道路	5.0m	500m	砂利	無償	—	当該工事	新設
6 国道 113 号	11.2m	300m	舗装	無償	—	—	既設
7 町道廣原前谷 地 2 号線	4.0m	450m	砂利	無償	—	当該工事	既設 拡幅
8 市道中大河線	6.0m	500m	舗装	無償	平成 26 年 2 月	中川地区工 事用道路工 事	新設
9 市道中大河山 線	6.0m	660m	舗装	無償	平成 26 年 2 月	中川地区工 事用道路工 事	新設
10 本郷内工事用 道路工事	4.0m	970m	砂利	無償	平成 26 年 2 月	中川地区工 事用道路工 事	新設
11 本郷内工事用 道路工事	5.0m	200m	砂利	無償	平成 26 年 4 月	未定	新設

1-1-2 工事用道路の共同使用

11-1 に示す工事用道路のうち、共通仕様書 1-22-5 に規定する工事用道路は、下表のとおりとする。

番号	工 事 名	受 注 者
1, 2	東北中央自動車道 中川工事用道路工事	熊松田組
1, 2, 6, 7	本郷工事 (工事件名未定) (拡点街)	未定
5, 9, 10, 11	本郷工事 (工事件名未定) (鈴点街)	未定
1, 2	土工、河川工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 6, 7	鋼上舗工工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	舗装工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	施設工事 (工事件名未定)	未定

1-1 工事用道路に関する事項

1-1-1 工事用道路の指定

共通仕様書 1-22-1 の規定に基づき指定する工事用道路は、「位置図」に示すとおりとし、その路線名、巾員及び延長等は、下表のとおりとする。

路線名 又は場所	巾員	延長	路面	用地	使用 開始時期	施工者	備考
1 米沢南陽道路	12.0m	150m	舗装	無償	—	—	既設
2 国道 13 号	9.0m	2600m	舗装	無償	—	—	既設
3 市道川既線	7.5m	1800m	舗装	無償	—	—	既設
4 本郷内 工事用道路	5.0m	1000m	砂利	無償	—	当該工事	既設 付替
5 本郷内 工事用道路	5.0m	500m	砂利	無償	—	当該工事	新設
6 国道 113 号	11.2m	300m	舗装	無償	—	—	既設
7 町道廣原前谷 地 2 号線	4.0m	450m	砂利	無償	—	当該工事	既設 拡幅

1-1-2 工事用道路の共同使用

11-1 に示す工事用道路のうち、共通仕様書 1-22-5 に規定する工事用道路は、下表のとおりとする。

番号	工 事 名	受 注 者
1, 2	東北中央自動車道 中川工事用道路工事	熊松田組
1, 2, 6, 7	本郷工事 (工事件名未定)	未定
1, 2	土工、河川工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 6, 7	鋼上舗工工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	舗装工事 (工事件名未定)	未定
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	施設工事 (工事件名未定)	未定

14-9 保安に関する費用

- (1) 本特記仕様書 14-4 に要する費用は、関連する単価表の項目に含むものとし、14-2、3、5、6、7、8 に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。
- (2) 受注者は、本特記仕様書 14-4 の表以外の箇所であっても、必要がある場合は交通誘導員等を配置しなければならない。なお、監督員が交通誘導員等の配置の変更を指示した場合は、これに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

15 環境保全に関する事項

15-1 井戸等の枯渇対策

本線沿線には、飲料水及び水田の灌漑用水のための浅井戸や沢水を利用した簡易水道が点在しており、これらが工事によって枯渇するおそれがあるので、工事中、受注者はこれらの物件について、状況の把握に努め、変状が認められた場合には、直ちに監督員に報告しなければならない。この場合において監督員が必要と認めて観測及び対策工等を指示した場合、受注者は、その指示に従うものとし、これらに要する費用について必要と認められるときは、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

15-2 騒音及び振動の防止

- (1) 受注者は、施工に伴う工事用機械及び車両の騒音・振動対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。
- (2) 受注者は、本坑掘削に伴う騒音対策として、トンネル起点側坑口部付近及びびり仮置場に防音設備（防音扉、防音壁）を設置するものとし、防音設備の計画及び施工方法について記載した施工計画書を監督員に提出しなければならない。防音設備の設置に要する費用は、関連する単価表の項目に含むものとし、別途支払は行わないものとする。
- (3) 上記 (2) の対策を講じたにもかかわらず工事中に発破等による著しい振動及び騒音等の発生により、防音設備の変更及び追加等の特別な対策を監督員が指示した場合は、受注者はそれに従うものとし、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

15-3 砂塵等の防止

受注者は、工事用機械及び車両の走行と発破による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

15-4 汚濁水処理

工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。なお、受注者は、汚濁水の処理方法について記載した計画書を監督員に提出するものとする。

14-9 保安に関する費用

- (1) 本特記仕様書 14-4 に要する費用は、関連する単価表の項目に含むものとし、14-2、3、5、6、7、8 に要する費用は諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。
- (2) 受注者は、本特記仕様書 14-4 の表以外の箇所であっても、必要がある場合は交通誘導員等を配置しなければならない。なお、監督員が交通誘導員等の配置の変更を指示した場合は、これに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

15 環境保全に関する事項

15-1 井戸等の枯渇対策

本線沿線には、飲料水及び水田の灌漑用水のための浅井戸や沢水を利用した簡易水道が点在しており、これらが工事によって枯渇するおそれがあるので、工事中、受注者はこれらの物件について、状況の把握に努め、変状が認められた場合には、直ちに監督員に報告しなければならない。この場合において監督員が必要と認めて観測及び対策工等を指示した場合、受注者は、その指示に従うものとし、これらに要する費用について必要と認められるときは、監督員と受注者で協議し定めるものとする。

15-2 騒音及び振動の防止

- (1) 受注者は、施工に伴う工事用機械及び車両の騒音・振動対策について、近隣の地域住民へ十分な配慮を講じて施工を行わなければならない。
- (2) 受注者は、本坑掘削に伴う騒音対策として、トンネル起点側坑口部付近及びびり仮置場に防音設備（防音扉、防音壁）を設置するものとし、防音設備の計画及び施工方法について記載した施工計画書を監督員に提出しなければならない。防音設備の設置に要する費用は、関連する単価表の項目に含むものとし、別途支払は行わないものとする。
- (3) 上記 (2) の対策を講じたにもかかわらず工事中に発破等による著しい振動及び騒音等の発生により、防音設備の変更及び追加等の特別な対策を監督員が指示した場合は、受注者はそれに従うものとし、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

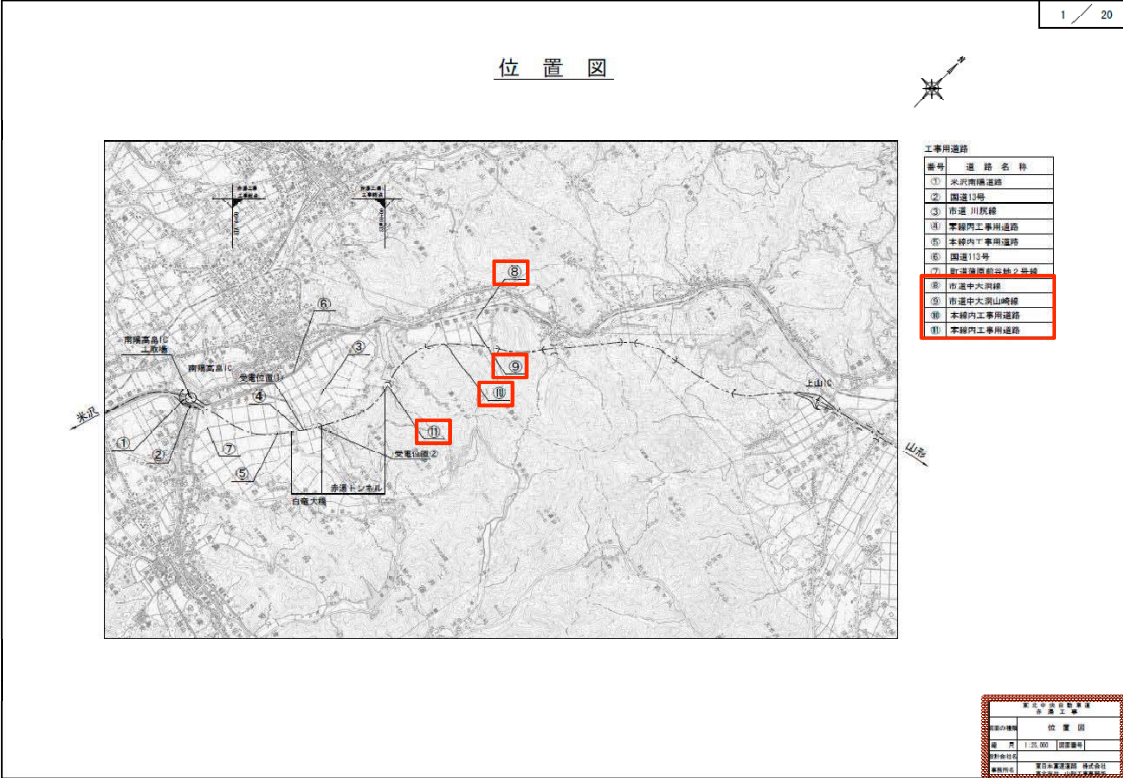
15-3 砂塵等の防止

受注者は、工事用機械及び車両の走行と発破による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

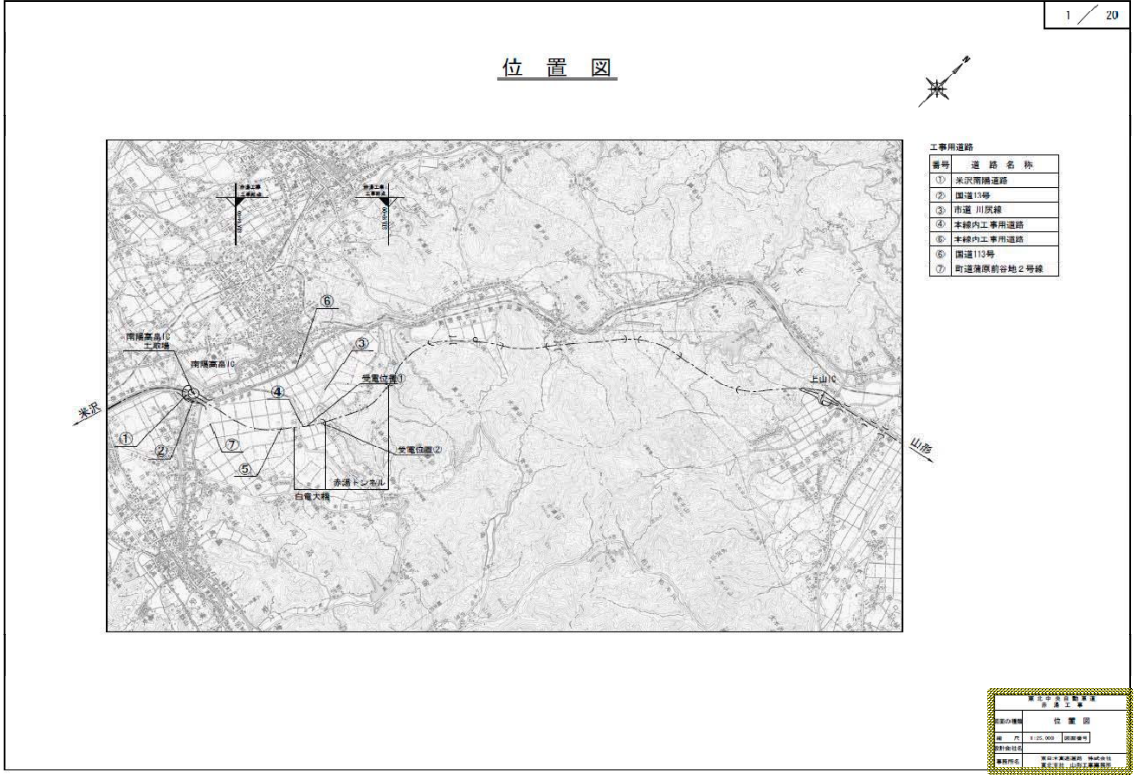
15-4 汚濁水処理

工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。なお、受注者は、汚濁水の処理方法について記載した計画書を監督員に提出するものとする。

正



誤



記 号 説 明 表

工 程	記 号	名 称	記 号 説 明	シート NO.
機 械 ト ン ネ ル ・ 吊 钩 工	機吊 LxLm 機吊 LxHxLm	機吊	a+b: スリム機 L: 長さ	
	トンネル吊 LxLm	トンネル	L: 長さ	
	C-Bx-aXbXL	カルポートボックス	a: 内幅 b: 内高 L: 長さ	
用 ・ 排 水 溝	Ds-PuL-e-a-b-L	プラスチックコンクリートU型溝	a: 幅 b: 高さ L: 長さ	D101
	Ds-PuL-e-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝	a: 幅 b: 高さ (F): 溝幅 L: 長さ	D101
	Ds-Bf-e-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (ボタアリウム)	Bf: ボタアリウム a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D102-1
	Ds-PuL (G1)-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (側溝用)	G1: 側溝用 a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D103
	Ds-U (G1.1)-a-b (F)-L	点 (グレーチング) 側溝用コンクリート溝	(G1.1): グレーチング a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D115
	P-Bs-a-b (F)-L	プラスチックボックス	a: 幅 b: 高さ (F): 溝幅 L: 長さ	
	PCV11)-a-L	プラスチックコンクリートU型溝	(1): 11号 a: 幅 L: 長さ	D105
	Dv-Bf-e-a-b (1)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (ボタアリウム)	Bf: ボタアリウム (1): シール部 a: 幅 b: 高さ L: 長さ	D131-1
	Ey-B (G)-L	排水工	B: 溝土層 (G): コンクリート L: 長さ	D133
用 途 水 管	P (Pa)-3-a-D (Sd-a-B)-L	高圧ポリエチレン管 (半剛性排水用)	(Pa)-3-a: 3号 600φ 管 (Sd-a-B): 半剛性 120° 変形量 L: 長さ	D202

工 程	記 号	名 称	記 号 説 明	シート NO.
溝	Ds-a-b-e (F)	溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D001
	Ds-a-b-e (F)	点 (灰色面) 付溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D002
	Ds (D)-a-b-e (F)	点 (黒とし面) 付溝	(D): 黒とし面 a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D003
	Ds (Sp)-a-b-e (F)	点 (黒とし面) 付溝	(Sp): 溝幅面 a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D004
溝	Ds-S-a-b-e	点土面及び土留土留溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ	D005
	Ds-M-a-b-e	中央土留溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ	D009
溝	溝 (A) ~ (D)	溝		
付 置 溝 水 路	Frr-Rd (As)-WXL	溝	(As): アスファルト舗装 (W): 溝幅 L: 長さ	
	Frr-Rd (So)-WXL	溝		
	RL-Rd (As)-WXL	付置溝		
	RL-W-a-b-L	付置溝	a: 幅 b: 高さ L: 長さ	
溝	Grr-C-E-L	ガードレール	C: C溝 E: 土中タイプ L: 長さ	

正



記 号 説 明 表

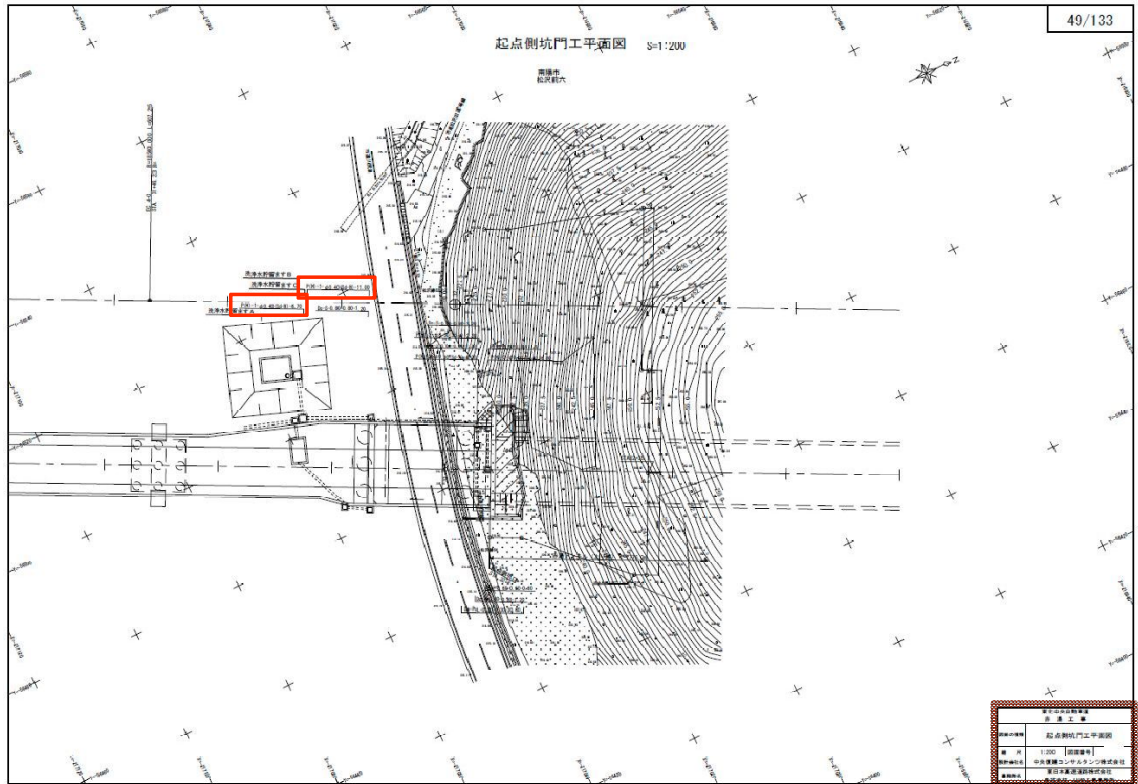
工 程	記 号	名 称	記 号 説 明	シート NO.
機 械 ト ン ネ ル ・ 吊 钩 工	機吊 LxLm 機吊 LxHxLm	機吊	a+b: スリム機 L: 長さ	
	トンネル吊 LxLm	トンネル	L: 長さ	
	C-Bx-aXbXL	カルポートボックス	a: 内幅 b: 内高 L: 長さ	
用 ・ 排 水 溝	Ds-PuL-e-a-b-L	プラスチックコンクリートU型溝	a: 幅 b: 高さ L: 長さ	D101
	Ds-PuL-e-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝	a: 幅 b: 高さ (F): 溝幅 L: 長さ	D101
	Ds-Bf-e-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (ボタアリウム)	Bf: ボタアリウム a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D102-2
	Ds-PuL (G1)-a-b (F)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (側溝用)	G1: 側溝用 a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D103
	Ds-U (G1.1)-a-b (F)-L	点 (グレーチング) 側溝用コンクリート溝	(G1.1): グレーチング a: 幅 b: 高さ L: 長さ (F): 溝幅	D115
	P-Bs-a-b (F)-L	プラスチックボックス	a: 幅 b: 高さ (F): 溝幅 L: 長さ	
	PCV11)-a-L	プラスチックコンクリートU型溝	(1): 11号 a: 幅 L: 長さ	D105
	Dv-Bf-e-a-b (1)-L	プラスチックコンクリートU型溝 (ボタアリウム)	Bf: ボタアリウム (1): シール部 a: 幅 b: 高さ L: 長さ	D131-1
	Ey-B (G)-L	排水工	B: 溝土層 (G): コンクリート L: 長さ	D133
用 途 水 管	P (Pa)-3-a-D (Sd-a-B)-L	高圧ポリエチレン管 (半剛性排水用)	(Pa)-3-a: 3号 600φ 管 (Sd-a-B): 半剛性 120° 変形量 L: 長さ	D202

工 程	記 号	名 称	記 号 説 明	シート NO.
溝	Ds-a-b-e (F)	溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D001
	Ds-a-b-e (F)	点 (灰色面) 付溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D002
	Ds (D)-a-b-e (F)	点 (黒とし面) 付溝	(D): 黒とし面 a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D003
	Ds (Sp)-a-b-e (F)	点 (黒とし面) 付溝	(Sp): 溝幅面 a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ (F): 溝幅	D004
溝	Ds-S-a-b-e	点土面及び土留土留溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ	D005
	Ds-M-a-b-e	中央土留溝	a: 幅 b: 溝幅 c: 高さ	D009
溝	溝 (A) ~ (D)	溝		
付 置 溝 水 路	Frr-Rd (As)-WXL	溝	(As): アスファルト舗装 (W): 溝幅 L: 長さ	
	Frr-Rd (So)-WXL	溝		
	RL-Rd (As)-WXL	付置溝		
	RL-W-a-b-L	付置溝	a: 幅 b: 高さ L: 長さ	
溝	Grr-C-E-L	ガードレール	C: C溝 E: 土中タイプ L: 長さ	

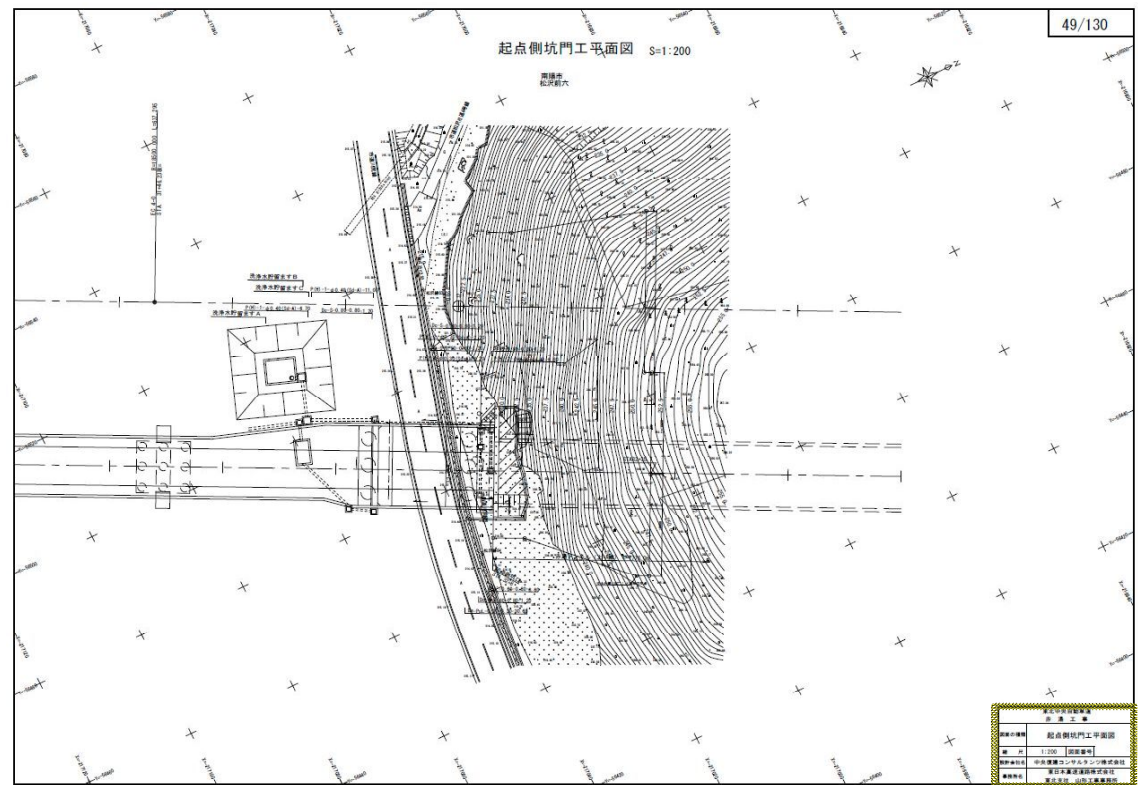
誤



正



誤



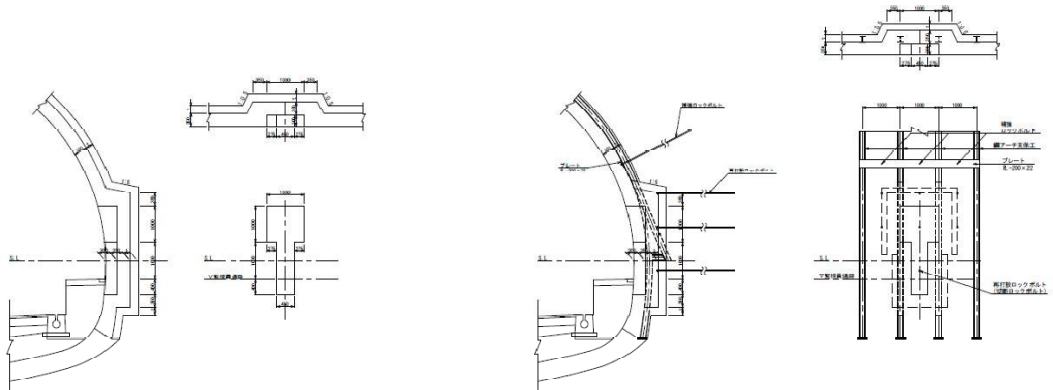
非常用施設箱抜工図 (19) S=1.30

端子盤

D111a (H)-4-K 断面

箱拔工圖

補 強 工 図



パターン		計11a)10~4
機	工	30
夜付	夜	20
組	組	3 568
夜付	夜	3 680
コン	コン	2 972
工	工	2 982
組	組	4 122
機	機	
組	組	
プ	プ	106.9
リ	リ	
バック	バック	4.06 × 2
組	組	406.2
組	組	14.8

作業	数量
ロックボルト切断	2,400
切 断	?
再 打 設	?

東京中央建設業連 合会 工事	
建設の種類	非常用施設補修工事 (19)
期 間	1:30 国貨番号
設計・施工	中央環境コンサルタント株式会社
事務所名	東京日本建設道路株式会社 東京市中央区本町二丁目

なし

正

誤

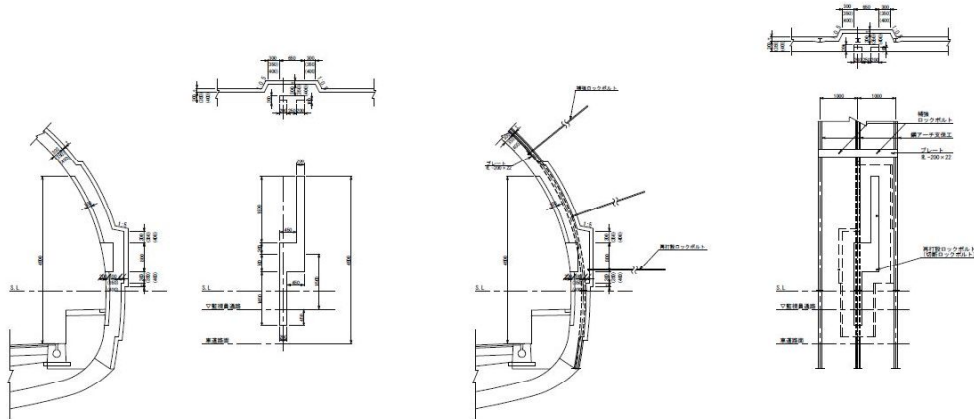
非常用施設箱抜工図(20) S=1:30

ELB盤

箱 拔 工 圖

補強工図

CI-a(H)-B、CII-a(H)-B、DI-a(H)-B、DIIa(H)-5-B、CII(H)B-L(R) 断面



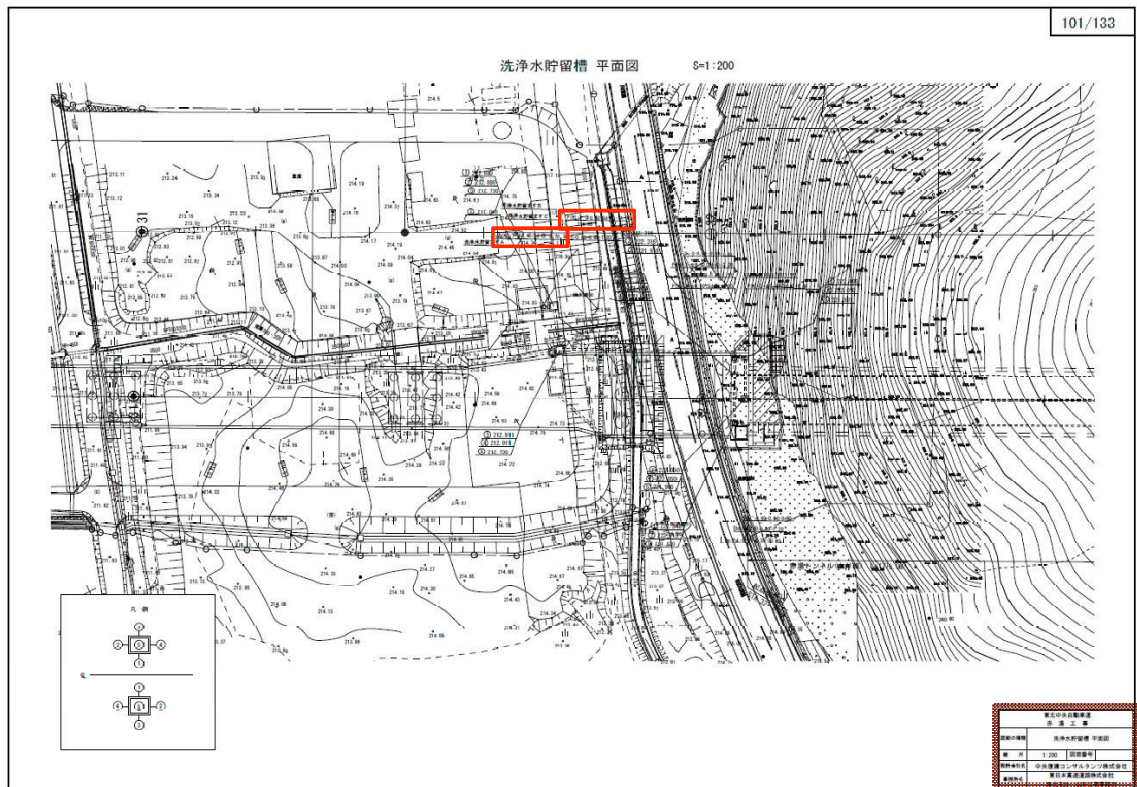
数量		単位	1714年-5	1714年-6	1714年-7	1714年-8	1714年-9
●	養子・養女	頭	30	30	30	30	40
●	養子・養女	頭	7	7	30	20	30
●	養子・養女	頭	1,000	1,000	1,500	1,500	1,250
●	養子・養女	頭	6,014	6,014	6,010	6,014	6,137
●	養子・養女	頭	6,006	6,006	6,006	6,006	6,006
●	養子・養女	頭	0.117	0.117	0.117	0.117	0.117
●	養子・養女	頭	2,529	2,529	2,529	2,529	2,529
●	養子・養女	頭	-	-	-	-	-
●	養子・養女	頭	-	-	72	74	86
●	養子・養女	頭	-	-	3,087	4,396	4,702
●	養子・養女	頭	-	-	171.7	400.6	101.6
●	養子・養女	頭	-	-	10.4	14.1	1.9

パターン	C1-a(0)-b	C1-a(0)-b	D1-a(0)-b	D11a(0)-b	D110(0)-b
ロックボルト差	L=3000	L=3000	L=3000	L=4000	L=4000
切 断	-	-	3	5	5
再 打 設	-	-	3	5	5

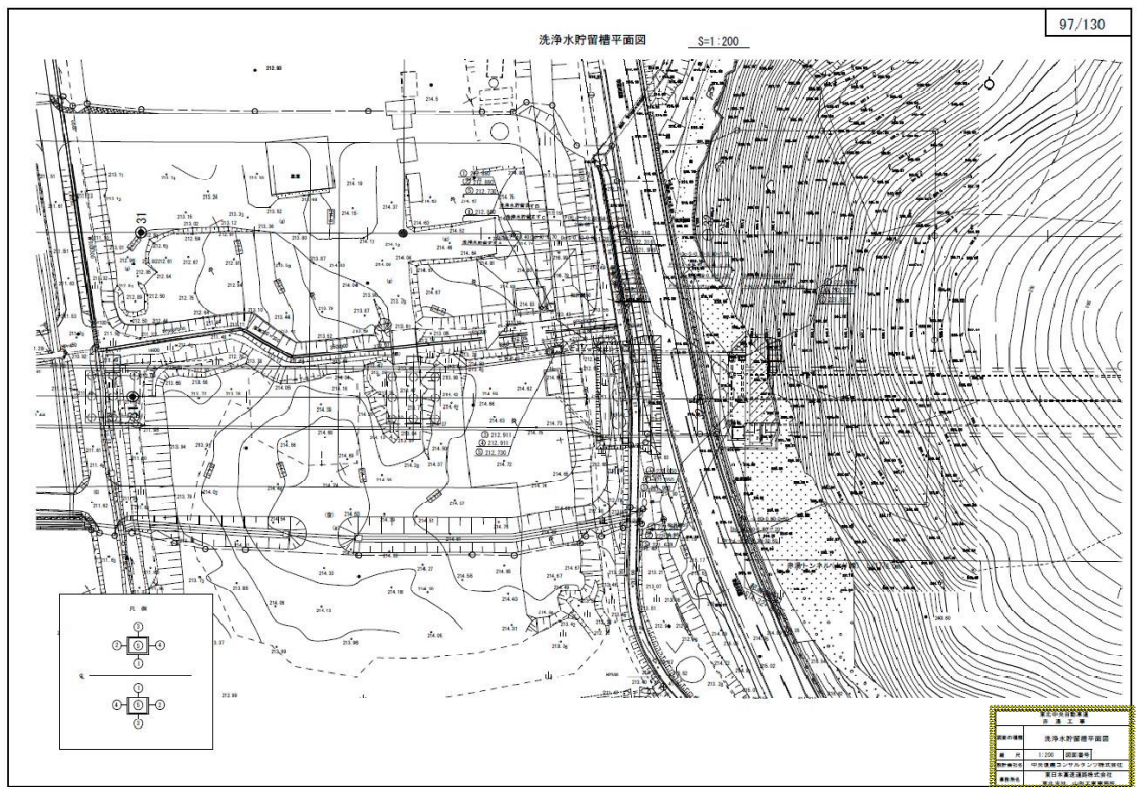
東北中央自動車道 赤松工区	
工事の種類	非常用施設修理工区 (20)
期 間	1-30 図面番号
設計事務所	中央建設コンサルタント株式会社
業務所長	東北中央建設局株式会社 建設部長 中村 幸三郎

なし

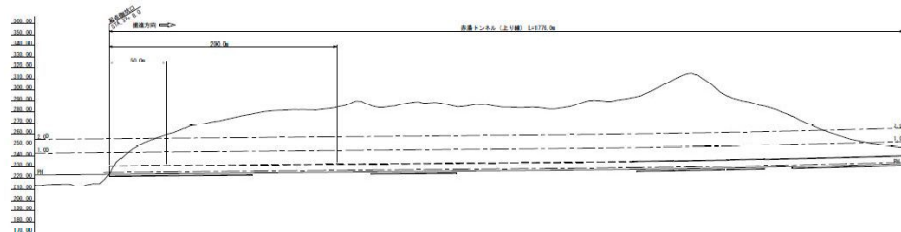
正



誤



横断面图



現場計測項目及び計測配置

[illegible]

※ 施工時における変位パターン変化位置では、随時測点を設けて測定を行うこと。

条件	①	②	③	④
施工条件	低圧中圧 (埋む厚 50cm)	高圧中圧以上 (①・②は埋め方)	の施工の初期 の段階	ある程度施工 の進みが進む
A.B	30 分	10 分	20 分	必要に応じて実施
U1, U2	30 分	10 分	20 分	20 分
01, 02	30 分	10 分	20 分	20 分
⑤	30 分	10 分	10 分	10 分

注・⑤ 施工の初期の段階では、200mmの施工が進むまでの時間を要する。

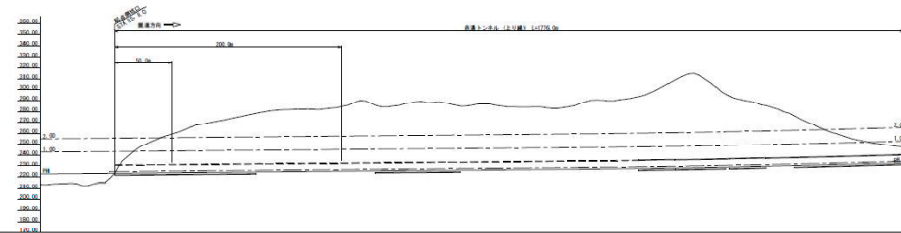
土質	計画距離
10m未満	5m
10m以上20m未満	10m

(注) ① 土質は図12の表へ、
 地質、地下水、偏圧等
 件を考慮し地表以下等
 条件から場合分け、陣
 点を設けて測定を行う。

東北中央自動車道 新 道 工 事	
計画の種別	計画工区 (1) (参考図)
規 則	1 : 1000 図面番号
設計者名	中央自動車コンサルタント株式会社
事務所名	東日本高速道路株式会社

計測工図 (1) S=1:1000

縱断面図



現場計測項目及び計測配置

[illegible]

⑤ 施工時における変換パターン変化位置では、隣接測点を除けて測定を行う。

項目	① 面端沈下 (20×10×50mm)	② 天端沈下 (20×10×50mm)	③ 天端沈下の 位置	④ ある程度施工 の後の沈下
天端沈下	10 mm	10 mm	20 mm	20 mm
面端沈下	10 mm	10 mm	20 mm	20 mm
天端沈下	10 mm	10 mm	20 mm	20 mm
面端沈下	10 mm	10 mm	20 mm	20 mm

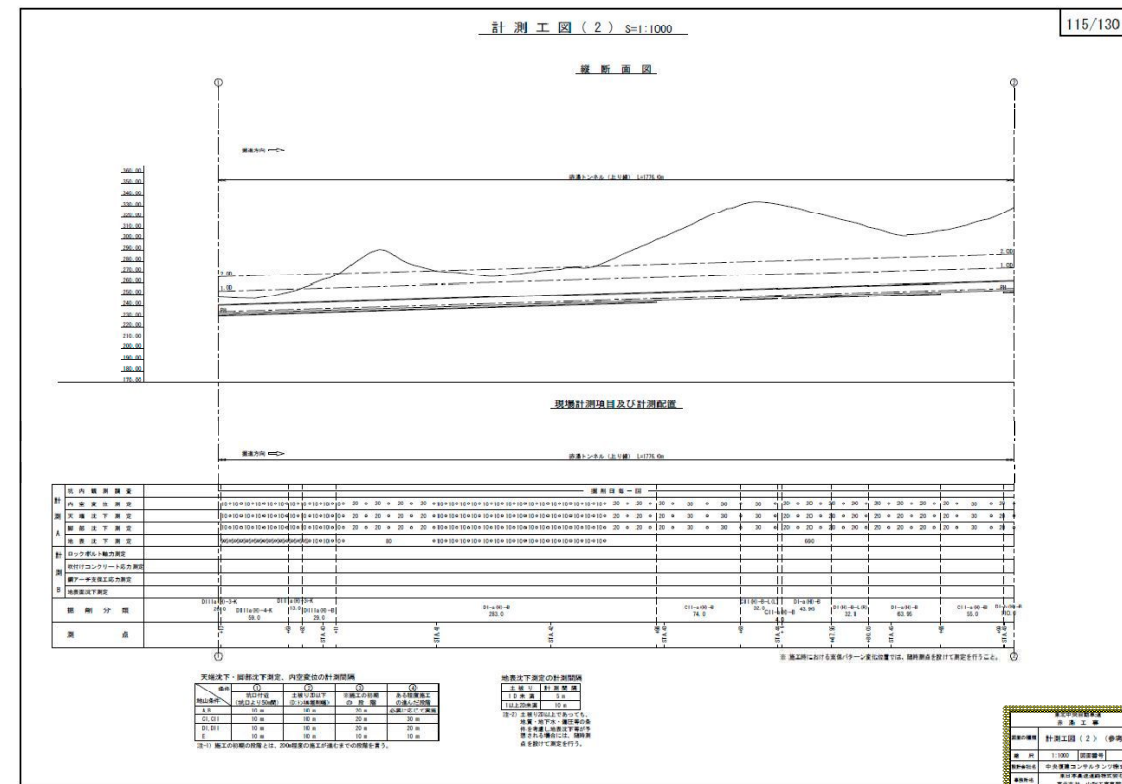
地表沈下測定の計測間隔

土質等	計測間隔
10m未満	5m
10m以上10m未満	10m

注-2) 土質等10m以上であっても、地質・地下水・地圧等の条件を考慮し地表沈下等が認められる場合には、随時点を設けて測定を行う。

[illegible]

平成中央競馬事業 新 工 事	
関係の種類	計画工区 (1) (参考図)
期 限	1 : 1990 年度第 2 期
競争会社名	中央競馬コンサルタント株式会社 東京平塚競馬場株式会社
業務内容	



正



地表以下測定の詳細関係

土層号	計測深度
1より浅	1 m
1以上30未満	30 m

(注-2) 土層号30以上であっても、地質・地下水・環境等の条件を考慮し地表以下等が予想される場合には、随時新品を設けて測定を行う。

[illegible]

③ 施工時における支保パターン変化位置では、随時測点を設けて測定を行うこと

東北中央自動車道 計画工事	
計画の種別	計画工区（３）（参考図）
縮尺	1:1000 図面番号
設計者	中央環境コンサルタント株式会社
調査者	東日本建設道路株式会社

誤



土層号	計画間隔
1層未満	5m
1以上2層未満	10m

注-① 土層1層以上であっても、地盤・地下水・構造物の特性を考慮し地震沈下量が予想される場合には、地層点を設けて測定を行う。

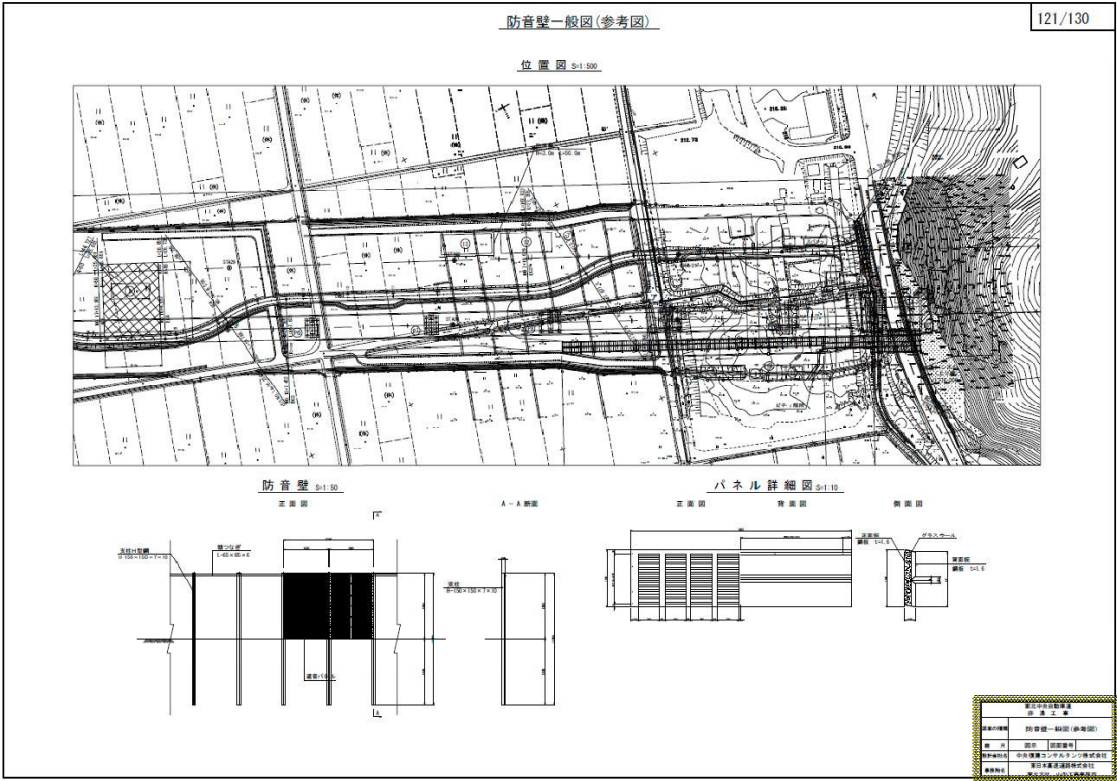
[illegible]

東北中央自動車道 道路工事	
道路の種類	計画工区（３）（参考図）
概 算	1:300 図面番号
発注者名	中央自動車コンクリート株式会社
建設所名	東北自動車道建設事務所

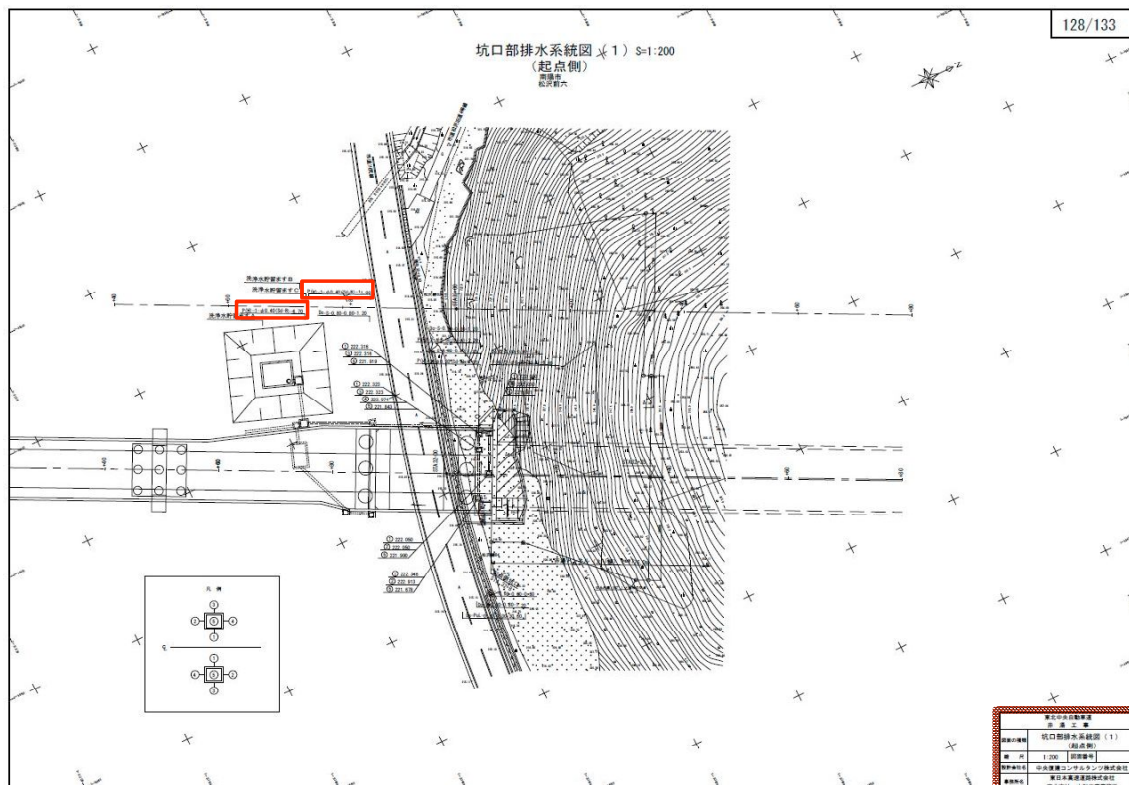
正

なし

誤

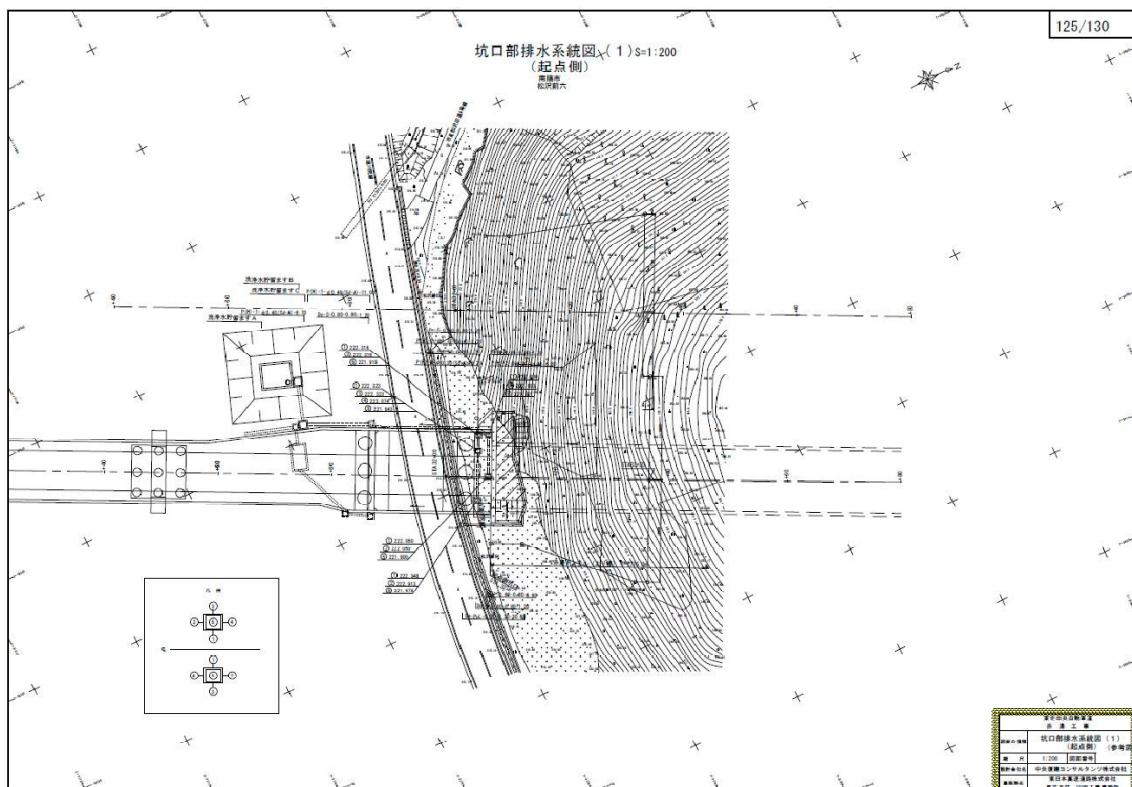


坑口部排水系統図 Ⅹ 1) S=1:200
(起点側)



正

坑口部排水系統圖(1) S=1:200
(起点側)



誤

